



平成20年3月26日

各 位

会社名 藤倉ゴム工業株式会社
 代表者 取締役社長 及川 達
 (コード番号：5121 東証第1部)
 問合せ先 専務取締役管理本部長 塩見 勇
 (TEL 03-3490-2111)

特別損失の発生及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年5月11日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位：百万円)

1. 連結業績予想数値の修正

20年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	32,000	2,600	2,550	1,600	68円25銭
今回修正予想(B)	30,800	2,200	1,850	830	35円40銭
増減額(B-A)	△1,200	△400	△700	△770	
増減率(%)	△3.8	△15.4	△27.5	△48.1	
(ご参考)前期実績 (平成19年3月期)	29,602	2,325	2,524	1,596	68円55銭

2. 個別業績予想数値の修正

20年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	23,700	1,550	1,950	1,350	57円88銭
今回修正予想(B)	23,200	1,400	1,350	500	21円44銭
増減額(B-A)	△500	△150	△600	△850	
増減率(%)	△2.1	△9.7	△30.8	△63.0	
(ご参考)前期実績 (平成19年3月期)	22,789	1,552	1,959	1,351	58円05銭

3. 修正の理由

(1) 連結業績予想の修正理由

売上高は、個別の売上減収の影響の他、北米の自動車関連製品が減収の影響で前回予想を下回ることが見込まれます。営業利益に関しましては、売上高の減収の影響を受け減益となるものであります。また、経常利益につきましては為替の変動が大きくなり為替差損が増加しており減益を予想しております。当期利益につきましては、北米の子会社株式の取得価格と時価純資産との差額であるのれん代、約200百万円を特別損失として一括償却する影響により業績予想の修正を行うものであります。

なお、1株当たり当期純利益の前回発表予想（A）につきましては、平成19年8月10日発表した自己株式の処分を行ったため、平成19年5月11日の決算発表時に公表した数値と変更となっております。

(2) 個別業績予想の修正理由

売上高は、ゴルフ用カーボンシャフトの新製品が好評で売上を伸ばしましたが、液晶関連製品が大きく減収となり、全体で減収の予想であります。営業利益に関しましては、原材料高騰の影響と業務改善費用等に関する費用が増加したことにより、減益となるものであります。また、経常利益は、為替相場の変動により為替差損約450百万円を見込んでおり、前回予想を下回ることが予想されます。当期利益は、平成18年5月に株式を取得した北米の連結子会社において、北米市場が悪化した影響により計画通りの拡販が出来ず、関係会社株式の取得価格と時価との差額約570百万円を特別損失として評価減を行うため業績予想の修正を行うものであります。

なお、1株当たり当期純利益の前回発表予想（A）につきましては、平成19年8月10日発表した自己株式の処分を行ったため、平成19年5月11日の決算発表時に公表した数値と変更となっております。

なお、平成20年3月期の期末配当予想については、修正はございません。

※上記の業績予想は現時点で想定できる情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上